

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 265	地図番号 67	A 普通注記	ページ
項目名 かつぐ		(B 除いた共通語)	(/)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
2731. 97.	kandzugu, kandzugu とちえ使う。	
4648. 42.	ka ^h zuku (kata e~, kata de~)	
4666. 42.	[kataneru] (ははめにkatsuguと答え、妻の言によつて訂正した)	
4686. 02.	katsuneru <新・共>	kataneru.
4695. 87.	katsuneru (新) kazuku.	
	(両方同じ)に用いると言うor. kazuku or. 古くからの言い方で、 多く用い. katsuneruは新しい言い方のよりに思われる.)	
4744. 10.	ninam. [katsugu]	
4762. 99.	!katsugu. (!はいろいろなかつぐ方があることを面白がるもの)	
5574. 84.	nam. ninam 双方同等	
5594. 02.	katsugu はん棒をカツと言う。はん棒とは言わない。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 265	地図番号 67	A 普通注記	ページ
項目名 かつぐ		(B 除いた共通語)	(2)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5613. 80	katsugju (tembin de ~)	
5671. 94	katsugju (単独の名詞形は tembigkatsugi が使われる)	
5696. 68	katsugju. pinaw <どっちも使われるが pinaw はやがて改まった言い方も知れない>	
5793. 74	kazuru <kazugju でもいい>	
6267. 84	katagju'p 桶以外はこうしな。	
6287. 71	katageru. <pinaw は使わな>	
6408. 88	=ナリ <英・希>	=ラウ
6412. 91	inaw <古>	pinaw
6416. 31	inaw. (カククとは言わな)	
6424. 92	カクク <普>	カクク

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 265	地図番号 67	A 普通注記	ページ
項目名 かつく		(B 除いた共通語)	(3)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6425・41	カタク (普)	カツク
6455・31	katagu <pino:という人もある>	
6465・82	カタク (普)	カツク
6472・05	kadagu (古)	katsugue
6472・68	ニナウ とも言う。	カツク
6475・27	ニナウ (普)	カツク
6477・02	ニナウ <ニナウは男が重いのをたたく場合.> カタク <カタクは女が重いのをたたく場合.>	
6482・75	pinaw. (pino:tekure, pino:tejaru) なる いう由。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 265	地図番号 67	A 普通注記	ページ
項目名 かつく		(B 除いた共通語)	(X)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6484. 43.	ニナウ (「荷う」である)	
6485. 30	ニノオ <ニノオトル。>	ニナウ
6494. 21.	イナエル. (ニナエルの訛りである。)	
6507. 13.	イナウ <古>	ニナウ
6507. 48	ニナウ <共>	イナウ
6526. 98	ニナウ <共・希>	イナウ
6529. 63.	kazuku <ズウ棒を〜'と読むは kazuku とは。> inau <因の棒の場合に'ズウ棒を〜'と読むは inau とは。>	
6548. 26.	inau <ズウ棒を〜'と読むはあは kazuku と書く>	
6549. 03.	kazuku <但し'ズウ棒を〜'と読むは「inau」とは。>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
265	67	(B 除いた共通語)	(5)
項目名		(C 除いた特殊語)	
かつく			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6549. 03.	(荷)を中心に言うときは「inau」となり、 <u>てんく</u> 棒もの切に注目して 言用表の文脈を与えれば「kazuku」となり、264 62 30「くはる」	
6560. 40.	カツイテ (カツク または カツク)	ニナウ。
6567. 86.	ina'u (希)	
6568. 13.	inau (この絵では自然 inau とする。しかし「てんく棒」と いへば kazuku といわなければならぬ)	kazuku
6583. 93.	inau. 第三章で、ある校長は nihau という人もあると言う。	
6584. 90.	ginau (終止形のときは「ゴ」多し)	ginau
6591. 57.	nihau (少し)	katagerw
6593. 30.	nihau (古)	inau

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 265	地図番号 67	A 普通注記	ページ
項目名 かつぐ		(B 除いた共通語)	(6)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6640. 76	nihau <この絵で、こゝをヒクマヨと聞かぬは、jinauと自然に去つたか。天坪棒をどうするかと katsugu / 聞かぬは「自然 katsugu」ということにはなる。	
6662. 01	katsugue, inau 同じ程度に使う	
7340. 74	inau. <ino:te iku たび>	
7354. 23	<?> カタケル.	= ナリ.
7400. 11	jinau 希	katagu
7427. 90	binau ともいう。	katagu
7432. 95	binau <99>	binou
8315. 46	kataguru <この方を平素使う> jinau <英>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ / (7)
265	67		
項目名			
かつく			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8324・83	kataguru <ktagetjoi>	kataga
8343・74	ino <多し>	katamui
8353・68	katagui nino <半々に使う>	
0256・76	katamijum. o:kofum. <いすかた用いる. o:kohosinjin 棒のこヒ>	
0256・89	katamijum. o:kofum. 五分重分に使う.	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()は厳密にする。

質問番号 265	地図番号 67	A 普通注記 ページ
項目名 かつぐ		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4695. 33	katsugū 〈ヤ>改まった言い方〉	kazukū
6516. 85	カツグ 〈希〉	ナリ
6591. 57	katsūjū 〈日常語ではない〉	ninaw 〈ナリ〉 katogenu
7354. 23	〈?〉カツグ	〈?〉カクグル = ナリ
7392. 45	katsugu.	inau
7501. 14	katsūjū 〈日常使用語ではない〉	hinaw
7501. 68	katsūjū 〈共〉	ninaw
7512. 43	katsūjū 〈共〉	ninaw
7513. 01	katsūjū 〈共〉	ninaw

